

夢のつばさプロジェクト

2018年夏キャンプ 学生報告書

【日程】2018年8月4日（土）～7日（火）

【開催地】(株)ブリヂストン保養所 奥多摩園（青梅市）

【参加者】子ども：22名（小学生11名、中学生5名、高校生4名、専門学校生2名）

学生スタッフ：43名（途中入れ替わりも含む）

OBOGスタッフ：15名（同上）

社会人スタッフ/協力者：13名（同上）

◆2018夏キャンプについて

たくさんの皆様に支えられ、今年も夢のつばさのキャンプを開催することができたことを心より御礼申し上げます。今回のキャンプでは、子どもも学生も全力を出し切って企画に参加することで、夢のつばさの一体感を強く感じることができました。企画を通して、何事にも諦めずに挑戦してほしいという学生の思いも伝えることができたと感じております。

また、前回のキャンプに引き続き、受験生を対象に勉強を教えるプログラムを「ゆめスタ@夏キャンプ」と称して行いました。キャンプを楽しみながらも、真剣に勉強をすることができて、とても良い時間を過ごすことができました。

さらに、18歳となった子どもたち3人に学生スタッフとしてキャンプを運営してもらいました。3人とも責任を持って行動してくれて、とても頼りになりました。キャンプを終えてからは、「次も学生スタッフとして一緒に頑張りたい」という声も聞くことができて、とても嬉しく思いました。

◆スケジュール・概要

	1日目 (8月4日)	2日目 (8月5日)	3日目 (8月6日)	4日目 (8月7日)
午前	送迎	脱出ゲーム	水遊び	閉会式
午後	TEPIA 見学	ゆめリンピック①	ゆめリンピック②	送迎
夜		音楽会		

<1日目>

◆TEPIA 見学

1日目は、まず TEPIA 先端技術館へ見学に行きました。東京駅からバスでの移動となりましたが、その道中にキャンプ中のルールを発表したり初参加の子どもの紹介を行ったりしました。

TEPIA に到着後は、最初にシアターにてスカイツリー建設の映像を視聴しました。この映像は、下見のとき、中に大震災関連の場面があったことに気づき、心の傷の癒えない子どもがいることをお話しすると、場面編集のご配慮をしてくださったものです。その後は小学生チームと中高生チームに分かれ、交互に館内の見学とプログラミング・ドローン操縦体験を行いました。



館内の見学では、アテンダントさんの説明を聞きながら館内を見て回りました。シャープペンシルの芯を出し入れする産業用ロボットや同時翻訳ができるタブレット端末など、最先端の技術を紹介する展示物に、子ども達からは驚きの声が上がっていました。プログラミング・ドローン操縦体験では、小さなボールのようなロボットを動かすプログラムを作成したり、ドローンを目標の位置に着陸させる練習をしたりしました。子ども達は、四苦八苦しながらもペアで協力しながら取り組み、実際に機械に触れて最先端の技術を体感することができました。

それぞれが終わった後も子ども達は館内の展示に興味津々で、見学時間がもっとほしいという声上がり、出発予定時刻間際まで見学を楽しんでいました。

< 2日目 >

◆脱出ゲーム



子どもと学生とが同じチームとなり、協力して謎を解くことで脱出をするというゲームを行いました。

小学生・中学生・高校生で分かれ、それぞれのレベルの問題を解きました。かなり難易度の高い問題もありましたが、チームのメンバーで協力して考えることで、最後は全員が脱出することができました。

子どもたちからもとても好評で、企画を通して同じチームのメンバーとの仲を深めることができました。

◆音楽会

夕食後、社会人スタッフのお一人で、音楽家で音楽事務所の代表でいらっしゃる白井優次様が音楽会を開いてくださいました。

今回は白井様のご紹介で、ハーモニカ奏者の大竹英二様・ギタリストの岩田裕樹様がお越しくださり、お二人の演奏をたっぷり堪能させていただきました。

1曲目の「聖者の行進」に始まり、「新世界」やジブリ



の映画音楽など馴染みのある曲を多く演奏して下さったため、子どもたちも「この曲知ってる！」と嬉しそうな様子でした。曲の演奏の間にはお二人がハーモニカやギターにまつわるお話をしてくださり、初めて知る楽器の構造やテクニックによる音色の違いに、驚きの声が上がっていました。素敵な演奏と楽しいお話であったという間の1時間でした。

会の終了後には、ゲーム音楽を担当されたことのある大竹様にサインをいただきに行く子がいたり、最近ギターを始めた子が岩田様と熱心に話し込んでいたり、子どもたちがお二人との交流を楽しむ様子が見られ、こちらとしても大変嬉しく思いました。

< 3日目 >

◆水遊び

3日目午前中の自由時間には水遊び(任意参加)が奥多摩園のゴルフ場にて行われました。水遊びが苦手な子はセミナー室の中でトランプなどのカードゲームやおしゃべりなどをして、皆がそれぞれ楽しい時間を過ごすことができました。

3日目は猛暑であった1日目や2日目に比べ、比較的気温が低く、水遊び日和でした。そんな中行われた水



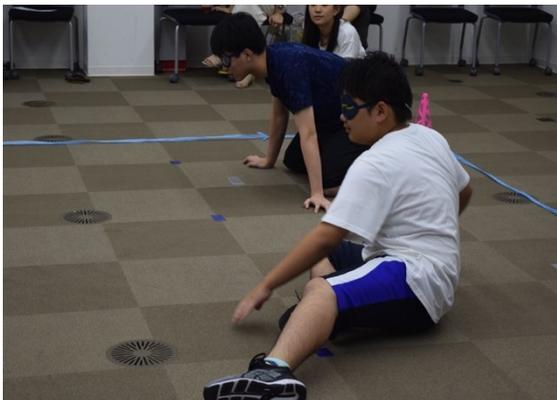
遊びでは、水鉄砲やコップなど様々な道具を使い、思い思いに水を掛け合い楽しむことができました。

年下の子には優しく水をかけてあげたり、仲間と協力して水鉄砲合戦をしたりと、全身びしょ濡れになりながら全力で遊ぶ子どもたちの姿に、成長を感じることができました。

また、今回から学生として参加してくれた3人は子どもたちに水鉄砲の水を入れてあ

げたり、着替えをサポートしていたり、水分補給を促していたりとよく子どもたちの事を見て、考えて行動してくれました

◆ゆめリンピック



この企画は、2日目の午後、3日目の午後の2回に分けて実施しました。

2日目午前中の「脱出ゲーム」と同じ6つのチームを、「ユメリカ」と「ツバリス」の2つの国に分け、「ゴールボール」「ボッチャ」「シッティングバレー」の3つの種目を競い合いました。この種目は、パラリンピックなどで行われているパラスポーツで、子どもたちも初めて体験する人がほとんどでした。「意外と難しい!」「うまくできた!」など、思い思

いの感想を口にしながら楽しそうに体験してくれました。

2日目午後の最後には、国ごとに横断幕を作成しました。絵やメンバーの名前、目標、意気込みなどを自由に描いてくれて、どちらの国も素敵に仕上がりました。

3日目午後は大会本番ということで、まず大会開会式を行いました。各チームのリーダーが横断幕を持って入場し、元気に選手宣誓を行ってくれました。2日目とは違い、少し緊張感のある雰囲気です試合が始まりました。得点が決まったときのとても嬉しそうな表情や、失敗してしまったときの悔しそうな表情がキラキラと眩しかったです。

ゆめオリンピック大会閉会式では、最もチームワークを発揮していたチームや、頑張っていた子どもに特別賞が贈られ、ハイタッチをしたり、自分が選ばれたことに驚きながらも嬉しそうな姿がとても印象的でした。子どもも学生も一緒になって、本気で取り組むことができ、夢のつばさの一体感を感じることができたのではないかと思います。

< 4日目 >

◆閉会式

閉会式では、キャンプの感想をワークシートに書いてもらったり、恒例のスライドショーの鑑賞をしました。

また、お世話になった社会人スタッフの方々と奥多摩園の方々に、子どもたちからお礼の挨拶をしてもらいました。自分なりの言葉で感謝の気持ちを伝える子どもたちの姿を見て、その成長した姿に感動しました。

今後も子ども達のために、一同、力を合わせて活動していきたいと思っています。



夢のつばさプロジェクト学生代表 お茶の水女子大学3年 山村椎奈